

アンケート結果(抜粋)

- 断酒会の評価
断酒会回答者: 61.8%がプラス評価
➡ マイナス評価改善、もっといい断酒会に
マイナス評価の自由記述(9、プラスは27)
「言い放し聞き放してみんなうそ」
「マンネリ化している」
「役についたら休みにくい」
➡ これらには対応を考える必要がある

ドイツとの関連で問題にしたいこと

- 断酒会を何で知ったか？
断酒会回答者:
医療機関78.9%、家族6.6%
クリニック回答者:
医療機関80.2%、友人・知人6.3%
医療機関が圧倒的
➡ 広報活動の必要性

なぜドイツか？ ドイツの広報活動

- ドイツには7万~10万の自助グループがあり、300万人が参加している。
- 政府や医療保険等から資金支援がおこなわれ、先進的な試みをやっている。
- 2年に1回アクションウィーク・アルコールという全国的な広報イベントをやっている。
➡ このイベントの内容、実施体制を見ることが日本へのヒントを導き出す。

DHSのルンメル(Rummel)さん作成のPPTファイルを利用しながら豊山作成

Aktionswoche Alkohol 2013

アクションウィーク・アルコール

2013年5月25日-6月2日のあいだに
ドイツ全国でアルコールに関する
キャンペーンを集中的に実施

Christina Rummel
Referentin für Projekte und Internationales

登記社団:ドイツ連邦依存症問題センター
Deutsche Hauptstelle
für Suchtfragen e.V.



アルコール？
少ないほうがいい！

キャンペーン

- 2007、2009、2011年について第4回
- 対象者は一般の人びと
- WHOモットー „Alkohol? Weniger ist besser!“
- できるだけ多くの人に、できるだけ多くの場所で届く
- DHS(ドイツ連邦依存症問題センター)は運営上の枠組みを設定し、資料を活用できるようにする
- アクションウィークは、とりわけ自発性とボランティアの力になる

ドイツからのヒント1

- キャンペーンタイトルがわかりやすい。
アクションウィーク(行動週間)・アルコール
理解ある人を増やすには必要な戦略。
↓
- 日本の場合: アディクション・セミナー等。
- 相談機関: ドイツでは依存症援助センター
日本では精神保健福祉センター
日独の依存症問題の捉え方の差?